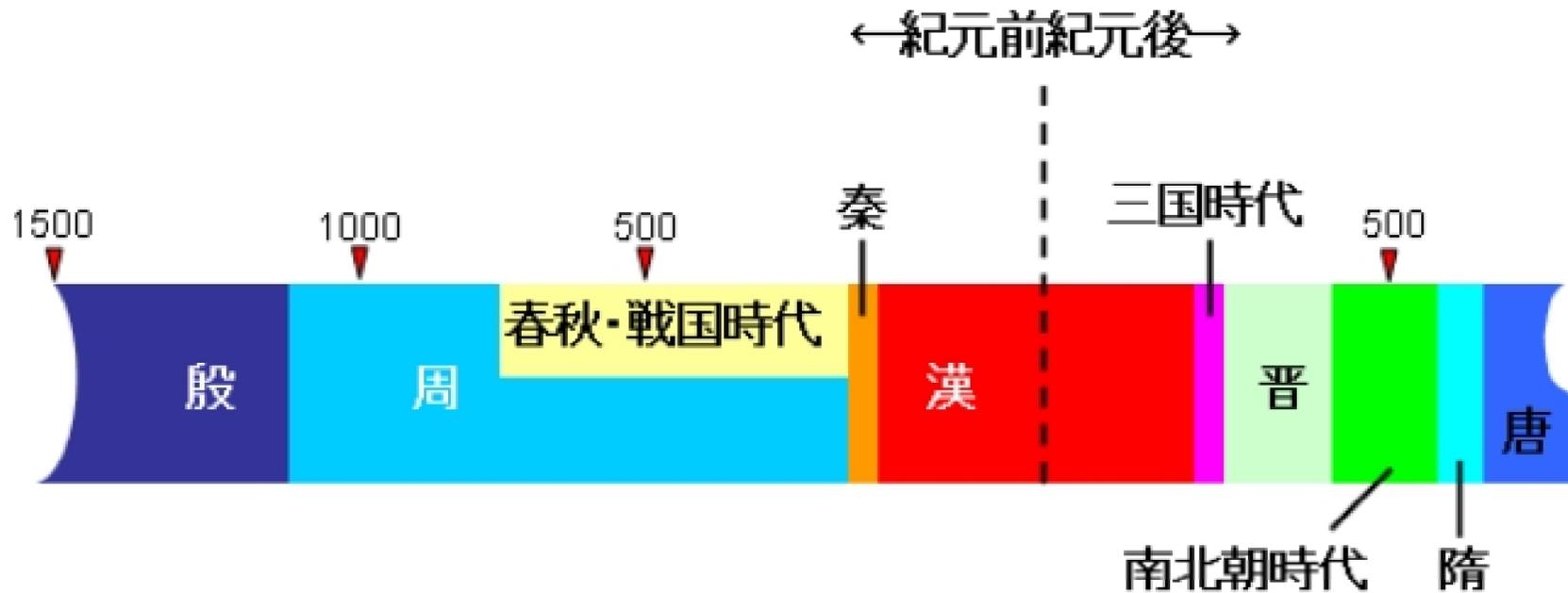


# 中国と日本



- 57年, <sup>わのなのくに</sup>倭奴国の王が金印をうける。(「<sup>かんのわのなのこくおう</sup>漢委奴国王」<sup>ぎ</sup>と刻まれた金印)
- 239年, <sup>ひみこ</sup>卑弥呼が魏に使いを送る。(中国の三国時代—<sup>ぎ</sup>魏, <sup>ご</sup>呉, <sup>しよく</sup>蜀)
- 607年, 小野妹子を<sup>ずい</sup>隋に<sup>はけん</sup>派遣する。

# 聖徳太子の政治

● 推古天皇（日本最初の女帝）の摂政として政治を行う。

① 603年，冠位十二階の制定

…冠の色によって位を定めて人材を登用する。

② 604年，十七条の憲法の制定

…政治の理想や役人の心得を示す。

③ 607年，遺隋使の派遣

…小野妹子を隋に派遣して対等外交を行う。

④ 607年，法隆寺の建立

…聖徳太子は仏教を深く信仰していた。

⑤ 620年，歴史書の編さん

…蘇我馬子との共同作業ですすめる。



# 飛鳥文化

- 飛鳥文化は、はじめての**仏教**中心の文化である。
- 飛鳥文化は、ギリシャ・ペルシャ・**ガンダーラ**・中国・朝鮮ちょうせんの強い影響えいきょうを受けた**国際性**豊かな文化である。

〔建築〕 ほうりゅうじ 法隆寺金堂，五重塔…現存する世界最古の**木造建築物**



〔彫刻〕 ちょうこく しやか **釈迦三尊像**…ほうりゅうじ 法隆寺にある止利仏師（とりぶっし）の作

みろくぼさつぞう **弥勒菩薩像**…こうりゅうじ 京都の広隆寺，なら 奈良の中宮寺にある。

〔工芸〕 たまむしのずし **玉虫厨子**…ほうりゅうじ 法隆寺にあり，中に仏像を安置してある。

# 大化の改新と壬申の乱

◆大化の改新は天皇中心の政治をめざした。

- ①645年，中大兄皇子と中<sup>なかとみのかまたり</sup>臣<sup>そ</sup>鎌<sup>が</sup>足が蘇我氏をたおした。
- ②全国の土地と人民を直接支配する公地公民制をとった。

◆改新の政治は672年の壬<sup>じんしん</sup>申の乱の後に大いに進められた。

壬<sup>じんしん</sup>申の乱…天<sup>てんち</sup>智<sup>ち</sup>天皇の死後に起こった，  
子の大友皇子と弟の大<sup>そく</sup>海<sup>く</sup>人皇子の争い。  
→勝利した大<sup>そく</sup>海<sup>く</sup>人皇子は即位して天<sup>そく</sup>武<sup>く</sup>天皇となる。

# 大宝律令

◆701年の大宝律令により天皇中心の中央集権国家が完成した。

701年は8世紀の最初の年である。

◆律令の土地制度は班田収授法である。

- 6年ごとに戸籍をつくる。
- 身分，性別，年齢に応じて，戸に対して口分田を支給する。
- 口分田は死亡した人の分は国に返す。
- 支給される口分田の面積
  - 良民…6歳以上の男子…2段
  - 6歳以上の女子…男子の3分の2
  - 賤民…奴婢…良民男女のそれぞれの3分の1

# 農民に課せられた負担



## 税制

- **租**……………<sup>しゅうかく</sup>収穫した<sup>いね</sup>稲の**約3%**の国司への納入
- **庸**……………<sup>ろうえき</sup>年**10日**の都での**労役**  
または**8m**の布（都への<sup>うんぱん</sup>運搬も）
- **調**……………地方の特産物とその都への<sup>うんぱん</sup>運搬
- **雑徭**……………国司のもとでの**年60日以内**のただ働き

## 兵役

- 兵士として国々の**軍団**への<sup>はけん</sup>派遣
- **防人**……………<sup>さきもり</sup>**3年間**北九州の守りへの派遣
- **衛士**……………<sup>えじ</sup>**1年間**都の警備への派遣

# 聖武天皇の時代

- ① 国分寺・国分尼寺こくぶんじ こんりゅうの建立〔国府やその近く〕
- ② 東大寺を総国分寺として奈良ならに建立  
本ぞん・大仏こんりゅう〔座高約15m, 口の長さ1.3m〕



大仏の工事	
人	…のべ 260万人
銅	… 499トン
すず	… 8.5トン
金	… 440kg



- ③ 光明皇后こうごう（聖武天皇きさきの后）の社会事業  
悲田院ひでんいん・施薬院せやくいん設置…孤児こじや病人の救済
- ④ 行基ぎょうきの社会事実…橋や用水しせつ施設の建設

# 農民の生活と公地公民制の崩壊

## ◆ 農民の生活は苦しかった。

- 農民の負担…租<sup>よう</sup>，庸<sup>へいえき</sup>，調<sup>へいえき</sup>，雑用<sup>へいえき</sup>，兵役<sup>へいえき</sup>，出挙
- 万葉集の山上億良の貧窮問答歌<sup>ひんきゅう</sup>は島民の苦しい生活をうたう。
- 生活に困った農民は口分田<sup>こうぶん</sup>をすてて逃亡<sup>とうぼう</sup>する。

## ◆ 公地公民制の原則がくずれた。

- 政府は口分田不足を補うために新しく開いた田の私有を認める。
- 723年の三世一身の法<sup>さんせいしん</sup>，743年の墾田永年私財法<sup>けんてんえいねんしさい</sup>
- 貴族・寺社・豪族<sup>ごうぞく</sup>らが新しく開いた私有地<sup>しやうえん</sup>＝莊園

# 天平文化

◆天平文化の特色は3つある。

- ①唐の文化の影<sup>とう</sup>響<sup>えいきょう</sup>を強く受けて国際性が豊かである。
- ②仏教との結びつきが強い文化である。
- ③天皇や貴族<sup>にな</sup>が担い手の中心となった文化である。

- 建築……校倉造<sup>あぜくらづくり</sup>の正倉院，東大寺法華堂，唐招提寺金堂
- 仏像……阿修羅像<sup>あしゅら</sup>（興福寺），日光・月光菩薩像<sup>ほっけ</sup>（東大寺）
- 絵画……吉祥天画像<sup>きちじょう</sup>（薬師寺），樹下美人図（東大寺）
- 工芸品…正倉院宝物（聖武天皇と光明皇后の愛用品など）
- 歴史書…「古事記」，「日本書紀」
- 地理書…「風土記」（出雲国のものがただ1つ完全に現存）
- 和歌集…「万葉集」（代表的歌人…柿本人麻呂<sup>かきのもとのひとまる</sup>……）



# 桓武天皇の政策

- 794年，平安京に遷都する。

① 農民の負担軽減 こんでい 健児の制の採用，雑 雑搖を半分にする。

郡 郡司などの子弟していを採用して軍隊をつくる。

② じっし 班田收受の実施を12年ごとにする。

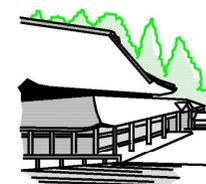
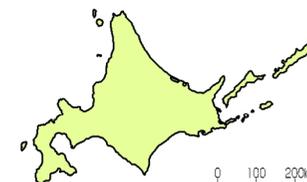
③ かげゆし 勘解由使の設置 かんとく 一国司の監督

④ せいいたいしょうぐんさかのうえのたむらまろ 征夷大將軍 えぞ 坂上田村麻呂を蝦夷へ はけん 派遣

⑤ 新しい仏教の保護

さいちょう 最澄 (伝教大師) てんたいしゅう 天台宗，ひえいざん 比叡山，えんりやくじ 延暦寺

こうぼう 空海 (弘法大師) しんごん 真言宗，たかの 高野山，こんごうぶじ 金剛峰寺



# 平安時代の文化

- 遣唐使廃止以前，唐の影響を受けた唐風文化が栄える。
- 遣唐使廃止以後，国風文化が発達する。

和歌…紀貫之らの編集した「古今和歌」

日記…紀貫之の「土佐日記」

物語…紫式部の「源氏物語」

随筆…清少納言の「枕草子」

歴史文学…「大鏡」，「栄花物語」

阿弥陀堂…藤原頼道の平等院鳳凰堂・奥州藤原氏の中尊寺金色堂



- 10世紀，空也により浄土教が始まり，源信は「往生要集」をあらわした。

# 藤原氏の政治

- 894年、菅原道真すがわらのみちざねの申し出で遣唐使けんとうしを廃止する。

唐とうの衰退すいたいで、危険をおかしてまで行くだけの長所がなくなったから

- 藤原氏ふじわらは11世紀前半せつかんに摂関政治の全盛期をむかえる。

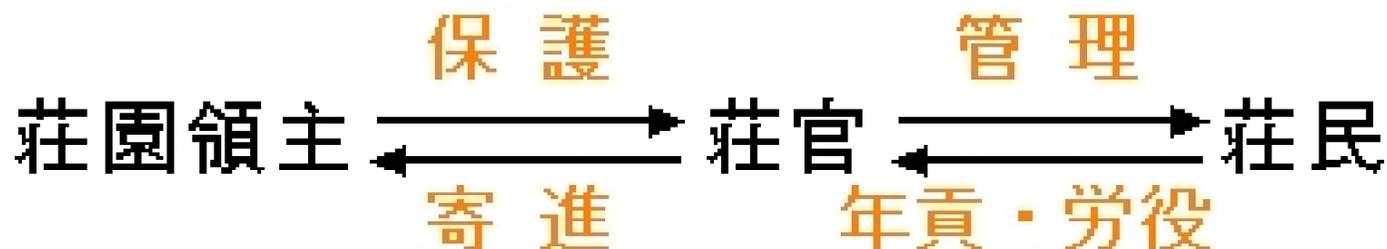
- ・ 天皇が幼少のとき天皇に代わって政治を行うー摂政せつしょう
- ・ 天皇が成人した後天皇に代わって政治を行うー関白
- ・ 11世紀前半、藤原道長ふじわらのみちなが・頼道よりみち父子の時に全盛期
- ・ 藤原氏が勢力をのびた理由
  - ① 他の貴族きぞくをはかりごとを用いて排斥はいせきしたから
  - ② 自分の娘むすめを天皇てんこうにとつがせて皇室しんせきと親戚となったから



# 荘園の広がり

◆ 荘園は、奈良時代の743年の墾田永年私財法をきっかけにして誕生した。

- 723年の三世一身の法－公地公民の原則の崩壊
- 743年の墾田永年私財法－完全な私有地の誕生
- 不輸の権－租を納めなくてもよい権利
- 不入の権－国司の役人の立ち入りを拒否する権利
- 荘園のしくみ



# 武士の進出

- 武士が誕生し，戦乱をつうじて成長した。

- 武士—<sup>ごうぞく</sup>地方豪族・<sup>しょうかん</sup>荘官・名主などが自衛のために武装したのが始め
- 武士団 有力者が<sup>とうりょう</sup>棟梁となり，家来と主従関係を結んで成立  
ふだんは農村に住んでいた。
- 10世紀前半の2つの乱—武士の力で武士の反乱をしずめる。  
①関東地方—平将門の乱 ②瀬戸内海—<sup>ふじわら</sup>藤原鈍友の乱
- 11世紀後半の2つの乱—源義家が東国に<sup>きぼん</sup>基盤を築く。  
①前九年の役 ②後三年の役

# 摂関政治から武家政治へ

- ◆ 11世紀後半，藤原<sup>ふじわら</sup>氏の勢力が衰<sup>おとろ</sup>える。

藤原氏と直接の血縁<sup>けつえん</sup>がない後三条天皇による記録所<sup>しゅうえん</sup>の設置→荘園整理

- ◆ 1086年，白河上皇が院政を始める。

僧兵<sup>そうへい</sup>をおさえるための北面の武士の設置→武士の中央進出

- ◆ 1086年，平清盛<sup>たじょうだいじん</sup>が太政大臣となり，武士として初めて政権をにぎる。

1156年の保元<sup>ほうげん</sup>の乱→貴族の争いに武士が利用される。

1159年の平治の乱→平清盛と源義朝の争い→平清盛の勝利

